

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

山田方谷の言葉を活用し危機を脱す 大橋洋治 (ANAホールディング相談役)

1. 9.11 が起きた後、このままではダメだと危機感が募り、経営理念とビジョンを改めて作り直しました。その理念とビジョンを社内に浸透させられたからこそ、どん底の状況を乗り越えられたのだと思います。その理念は、今も社員が口にする「あんしん、あったか、あかるく元気」という言葉に象徴されます。航空会社は安全が命です。しかし、なぜ安全ではなく安心かということ、技術的に安全なのは当然で、むしろそれを上回る精神的な安心も提供できる会社になろうと考えたからです。
2. 理念は、会社にとって憲法のようなものです。理念があって、その上にビジョンという夢があり、その夢を達成するための物語を作る。それが経営者の仕事です。理念を社員に浸透させるために、社長時代には数十人ずつ 6000 人くらいの社員と話をしたでしょうか。
3. 話す内容は毎回同じです。その基礎になったのが、山田方谷という陽明学者の言葉でした。幕末に破綻寸前だった備中松山藩の財政を立て直した人物ですが、その言葉には普遍性があります。特に、「総じて善く天下の事を制する者は、事の外に立ち、事の内に屈せず」という言葉は、我々が進むべき方向性を示しているように思えました。その言葉は、物事に取り組む時は、細かいことに気を取らず大きく構えてやれ、という意味です。JAS と統合する JAL に勝つためには何をすべきか、大きな視点に立ってみんなで考えなきゃと言いつづけたことを覚えています。その結果危機を脱した。

(参考:「日経ビジネス」2015年12月21日号)

経営者のための理念・哲学

不易流行の意味 童門冬二 (作家)

1. 俳聖・松尾芭蕉に「不易流行」という有名な俳論がある。先学の解釈にも諸説あるが、私は私流に次のように解釈している。①私 (芭蕉) は作句において不易を目標にしているが、必ずしも流行を否定しているわけではない。②だから門人たちは遠慮せずに流行的俳句を作るがよい。③ただしその句は、今は流行であっても、時が経てばいつの間にか不易と呼ばれるものであってほしい。
2. 不易というのは「変わらず、変えず」という意味だ。流行は「はやる」ということで「時流に乗る、おもねる」の意味だろう。不易には永遠性があり流行は一過性だ。私は芭蕉の考えを、二者択一でなく両者併存としてみた。しかし難しい。なぜなら私の考えでは「流行の中にも不易性を含ませろ」ということになるからだ。言葉を変えれば、「一過性の中に永遠性を根付かせろ」ということだ。そのためには目の前の現実を直視し、長期的視野に立った対応が大事だ。

(参考:「週刊東洋経済」:2016年1月23日号)

ワンポイント経営アドバイス

事業の発展は三綱領による

榎原稔 (三菱商事特別顧問)

1. 三菱グループはなぜ、日本最大のグループになり得たのか。それは、三菱の基本理念である三綱領であることによって、他のグループより結束力が生まれたのかもしれない。岩崎弥太郎から小弥太さんに至る 4 代は非常に優れた経営者で、会社の発展を見事に設計し成就した。終戦でピリオドを打たれたはしたが、そのときも 4 代の伝統や三綱領的な考えが残っていた。
2. 戦後、米国から独占禁止法に抵触するという見方もされたが、そうはならなかった。独禁法の問題に関し、三綱領の「処事光明」が、コーポレートガバナンスの大事な点を実に明確に表わしている。グローバル化が進み、岩崎 4 代のころと全く違う事業関係が生まれている。これに対応するためにも、やはり三綱領に戻っても物事を考えていい時代がまた来たという気がしている。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2016年1月30日号)

古典に学ぶ

自己認識とは

(解説) 自己認識とは、ギリシャの教えでも日本の教えでも、人間の身体的な部分を知ることでもなく、その解剖学や精神物理学 (19 世紀中ごろに、G・T・Fechner「1801~1887」によって提唱された精神科学。心と物の関係など精神現象は物理学同様、実証的な測定法で基礎づけられると考える) の知識でもない。その知識は道徳的性質のもの、すなわち私たちの道徳的本性の内省でなければならなかった。

(参考:佐藤全弘訳新渡戸稲造著「武士道」: 教文館)